

神武寺・鷹取山・夏島へ

2010年12月14日(火)

コース:神武寺→鷹取山→京急田浦駅(一時解散)ここまで10000歩

希望者でバス路ウォーク→深浦→夏島貝山緑地→追浜駅 23000歩 約15キロ

参加者:平嶋(L) 勅使河原 仲 大平 田村啓 高橋文 熊島 斉藤優 戸田 平林 一般 3名 計13名



雨が降っていたのでホームで待っていると小止みになったので改札口に出る



初参加の方が見えたのでご挨拶・・・どうぞよろしく！



小降りになったと思ったら又降り出す・・・傘をさして山道を歩く



神武寺の鐘樓の屋根を借りて雨支度



雨支度完了ではいポーズ・・・カメラ視線



雨が止むと言ったのにブツブツ言いながらスタート
このあたりが滑りそうで心配なところでした。
でも・・・もみじはきれいでした。



鷹取山山頂に着いたら晴れてきた
ランドマークや房総までくっきり見えた



今回初参加のお三方
右端の方（Iさんはもんじゃウォークに
参加するとの事）



希望者で「磨崖仏」見物



昼食後山道を田浦駅に向かいます



田浦駅でIさんが帰られるので見送り
12名で夏島を目指す



どういうわけかグジャグジャの斜面を降りることになり初参加のAさんや男性軍に助けてもらい無事に平地に着いた。皆足元はどろどろでした。スリル満点！
この金網も頼りになった、フェンスの向こう側は自衛隊の基地らしい。





夏島の貝塚緑地は「予科練誕生」の地だそうです。

説明版を読んでいると、何だか胸がキュンとなって眼が霞んできました。



予科練とは海軍飛行予科練習生の略称にして海軍少年航空兵とも別称す。昭和五年六月一日第一期生入隊以来昭和十四年二月第十期西ヶ浦に移るまで全国より選ばれたる少年此の地に集い学び此の地を巣立ちて日夜猛訓練の中に技倆を磨き、やがて日支事変勃発するや中国の空に第二次世界大戦においては南海の空にと唯々国の為同胞の為にと信じて各地に勇敢敢闘する武勲を残してその大多数が大空に散華す。我々不思議に今承らえたる生存者一同今は亡き同窓の英霊を思ひて、思ひ出の此の地追浜神社跡に建碑す。即ち予科練誕生之碑也。

昭和五十六年六月一日
予科練一期生より十期生まで
生存者一同



夏島の貝塚緑地の展望台
とっても良い眺めでした。

